

昆陽だより

2025 年 7 月 夏号
 昆陽だより発行委員会事務局：
 幕張公民館内
 千葉市花見川区幕張町 4-602
 電話 043-273-7522
 (受付時間 9:00～17:00)

季節を表わす言葉

季節を表わす言葉には色々なものがありますが、その中で暦と合せて使われているものの一つに皆さんも良くご存知の「二十四節気(にじゅうしせつき)」があります。

この二十四節気は、紀元前4世紀頃に中国で考え出された“気候を仕訳する”方法です。それまで使われていた太陰暦では気候の変化が体感しにくいため、太陽の動きを補助的に組み込むことで農作業に役立てることを目的に生まれたと言われています。

まず太陽の楕円軌道(黄道)が春分点を出て再び春分点に至る期間を1年とし、これを4つに分けて春・夏・秋・冬の四季を決めました。



*黄道:地球から見た太陽の通り道のこと

*春分点:地球の赤道を天まで伸ばした天の赤道が黄道と交わる点のこと

さらに四季を6つに分けて24の節季(1節季は約15日)を作りそれぞれの時期にあわせた季節感のある言葉を当てはめました。これが二十四節気です。暦は西暦553年に百済経由で日本に伝えられましたが、二十四節季についても同時に伝来したものと考えられます。二十四節気の言葉は古代中国の黄河流域における当時の気候をもとに作られているため日本の季節感とは多少のずれが感じられます。

しかし、今日でも季節の変化を感じさせる潤いのある言葉として日常生活の中に根付いているのではないのでしょうか。

<二十四節気> *2025年の暦(年により1日程ずれることがあります)

名 称	月 日	意 味
立春 りっしゅん	2月 3日	春の立つ(始まる)日
雨水 うすい	2月 18日	雪氷とけて雨水となる
啓蟄 けいちつ	3月 5日	蟄虫(かくれた虫)戸を啓(ひら)く
春分 しゅんぶん	3月 20日	春の分け(なかば)の日
清明 せいめい	4月 4日	物生じ清浄明潔となる
穀雨 こくう	4月 20日	雨降り百穀生ず
立夏 りっか	5月 5日	夏の立つ(始まる)日
小満 しょうまん	5月 21日	物長じ少し満つる
芒種 ぼうしゅ	6月 5日	穀物を植え付ける
夏至 げし	6月 21日	夏の至る(極まる)日
小暑 しょうしょ	7月 7日	少し暑し
大暑 たいしょ	7月 22日	大いに暑し

名 称	月 日	意 味
立秋 りっしゅう	8月 7日	秋の立つ(始まる)日
処暑 しょしょ	8月 23日	陽気とどまり退きやまんとす
白露 はくろ	9月 7日	陰気重なり露こごり白色となる
秋分 しゅうぶん	9月 23日	秋の分け(なかば)の日
寒露 かんろ	10月 8日	露結び凝らんとする
霜降 そうこう	10月 23日	霜降りる
立冬 りっとう	11月 7日	冬の立つ(始まる)日
小雪 しょうせつ	11月 22日	雪少なきをいう
大雪 だいせつ	12月 7日	雪多きをいう
冬至 とうじ	12月 22日	冬の至る(極まる)日
小寒 しょうかん	1月 5日	少し寒し
大寒 だいかん	1月 20日	大いに寒し



「二十四節気」の他にも細かく分けた「七十二候」もあり、さらに日本で考え出された土用・入梅・八十八夜・二百十日・その他の「雑節」があります。

また、暦には組み込まれてはいませんが日常的に季節を感じさせる言葉は身の回りに沢山あふれています。一例に桜や春をイメージした言葉を探してみると、春一番・花冷え・花便り・春霞・花曇り・陽春・春雨・春眠・花吹雪・葉桜……。日本人の表現力の豊かさは素晴らしいですね！



○観蓮会

7月19日(土) 6時～10時 東京大学旧緑地植物実験所

この日は大賀蓮観賞と、ガイドの説明・パネル展示・オカリナの演奏・苗売り等があります。

7月20・27・8月3・10(日)も同時間帯で一般開放されています。

○幕張ビーチ花火フェスタ 2025

8月2日(土) 19時30分～20時30分予定

○稲毛 浅間神社夏祭り

7月14日(月)～7月15日(火)

○検見川神社夏祭り

8月1日(金)～8月3日(日)

○子守神社秋祭り

9月15日(月)～9月17日(水)



※実施の内容については各神社などにお問い合わせください。

今日のスケッチ

館山海軍航空隊赤山地下壕跡に行ってきました!!

皆様、「館山海軍航空隊赤山地下壕」が有るのをご存じでしょうか。

この地下壕は、航空自衛隊館山基地の近くにある赤山に横穴を掘り東京湾を守る要塞として使用されました。昭和19年日本軍の南方戦線が陥落したころから掘られたようです。

壕の長さは全長1.5Kmでまるで蟻の巣のようでした。壕の中に発電所や電話室、応急治療所、階級ごとのベッド室、上級軍人の憩い場所などが有りました。他にも東京湾の要所には砲台がいくつも建造されました。

しかし19年終わりのころ、B29により、東京が直接空襲され、それ以降は各都市が空襲に遭いました。

このため赤山地下壕は本来の機能を果たさないまま終

戦を迎え忘れられてきました。その後、地元の人々はキノコ栽培などに使っていたようです。現在は有料にて見学が可能です。



(S.K)



☆☆☆ 公民館からのお知らせ(7月~10月分) ☆☆☆



◎主催事業のご案内

講座名	詳細
最先端技術・データを活用した地震の理解 最先端技術とデータを活用した地震研究と災害軽減に関して学びます。東京大学地震研究所教授の講座をオンラインで幕張公民館にて受講できます。	7/12(土)14:00~16:00 対象: どなたでも 定員: 20人 参加費: 無料 申込: 7/1(火)~7/11(金) 必着
自分が大好きと言える子に 心の言葉かけ ペップトーク 子どもの自己肯定感を高める声のかけ方やコミュニケーションスキルを身に付けましょう。	7/27(日)14:00~15:30 対象: 成人 定員: 20人 参加費: 無料 申込: 7/1(火)~7/11(金) 必着 
大地震に備えた住まいの耐震化と日ごろからの防災対策 住まいの耐震性の確認、住まいや家具の耐震補強、被災後の生活への備え等についてお話しします。	10/11(土)10:00~12:00 対象: 成人 定員: 20人 参加費: 無料 申込: 9/2(火)~9/23(火) 必着

往復はがきに①講座名、②お名前(フリガナ)、③ご年齢、④ご住所、⑤電話番号を記入して幕張公民館までお送りください。
幕張公民館 HP から可。内容・日程等変更・中止になる場合があります。



から

こんな本もありますよ!



今回の一面記事のテーマは、「季節を表す言葉」である「二十四節気」でした。「二十四節気」や「七十二候」に関して、幕張公民館でも数冊「二十四節気」と絵本や和菓子と絡めた関連本を購入しました。在庫は少ないかもしれませんが、千葉市の図書館には、この件名に関する本がありますので、取り寄せて読むことができます。興味のある方は図書室へお声がけください。

じどうむけ さいきんかったほん

本のなまえ	かいた人	しゅつばんしゃ 出版社	しゅつばんねん 出版年
りょこう(日本傑作絵本シリーズ) にほんけつさくえほん	あそう ともこ 麻生 知子	ふくいんかんしよてん 福音館書店	2025
わかったさんのチョコレート(わかったさんのあたらしいおかしシリーズ2)	ながい いুকこ 永井 郁子 てらむら てるお げんあん 寺村 輝夫 原案	あかね書房 しよぼう	2025
データサイエンス(学校では教えてくれない大切なこと 49) - 統計で問題解決! - がっこう おし たいせつ どうけい もんだいかいけつ	せき かずゆき 関 和之	おうぶんしゃ 旺文社	2025
くらべるえほん いきもの	ちかつ たけお	Gakken	2025
もっと自由にわたらしく!おしゃれのルール	へんしゅうぶへん はぴふるガール編集部編	いけだしよてん 池田書店	2025
までないの	ヨシタケ シンスケ	しんしや ブロンズ新社	2025

サークル紹介 …くみひもクラブ

日本の伝統工芸の一つである「組みひも」を楽しみながら作っています。

丸台や綾竹台で絹糸を使い制作しますが、同じ組み方でも配色によってまるで雰囲気の違う作品に仕上がるのは、もの作りの醍醐味でしょうか。

和装の帯締めに限らず、眼鏡ひもやネックレスなどのアクセサリ、最近ではスマホのショルダーストラップなどにも取り組んでいます。

基本を丁寧に教えてもらえるので初心者でも大丈夫！ 会員は現在五名ですが、それぞれ自分のペースで先生に指導を受けながら活動しています。

毎月第一・第三土曜日の午前中に活動していますので、興味のある方はぜひ見学にいらしてください。

(代表 秋山)



◇ 幕張雑記帳 “武石(たけし)氏”について③

奥州武石氏は「亙理氏」に改姓した後も長く繁栄しましたが、16世紀の初めには福島県北部伊達郡のみを支配する地頭職から急速に勢力を拡大し、奥州の有力豪族に成長した伊達氏の傘下に入りました。その後、伊達家より養子を迎え1601年には「伊達姓」を名乗り幕末まで続きました。

＊山本周五郎の小説「樅の木は残った」に出てくる“伊達安芸”はこの伊達一族で、千葉氏に繋がる人物になります。

長野県上田市の武石氏についての記録は少なく定かではありませんが、上田市武石地区(旧武石村)には武石三郎胤盛に関する史跡が少なからず現存しています。

地元の妙見寺には“獄石三郎平胤盛が1185年に寺を創建し大日如来と妙見菩薩を安置した”という言い伝えがあります。また大宮諏訪神社の棟札には“郷主獄石三郎平胤盛一族安穩、寿永3(1184)年朽ちたるにより改”と記されています。他にも武石三郎胤盛が改修したと伝えられる子壇嶺(こまゆみね)神社や月星紋のある石塔なども見受けられます。

この1184年は源頼朝が木曾義仲追討の軍を発した年で、頼朝の命令で中山道から北陸道経由で京都を目指して進軍した千葉一族が、義仲が挙兵した依田城に近い当地に関係を持った可能性は十分に伺えます。もしかしたら依田城の押さえとして武石氏に関係する誰かが当地に残ったのかも知れません。…“武石氏について”終わり



上田市・武石山妙見寺本堂



武石胤盛銘石塔

ティータイム

昆陽だよりでも一部をご案内していますが、幕張公民館では年間を通じて様々な主催事業を行っています。10月には、検見川の旧道を中心とした古い街並みを散策しながら歴史を学ぶ「検見川の歴史を歩こう」を予定しています。秋を感じながら、身近な場所にどのような歴史的な背景があるのか学んでみませんか。昨年度の「幕張の歴史を歩こう」も好評でした。お見逃しなく！

(K.S)

